

シリーズ⑦ おいどんがふるさと 佐志区

さつま町内の20区公民館が取り組んでいる特色ある活動、イベントなどを紹介しています。

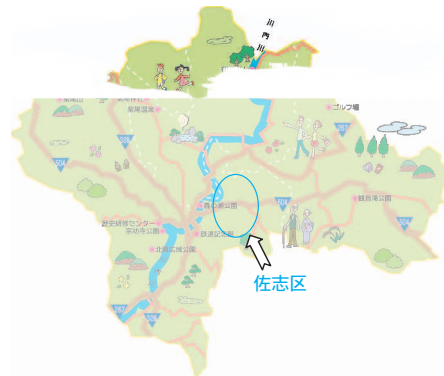


館長 四位 峯生さん

佐志区は、さつま町の市街地から東へ約4キロの位置にあり、中央を流れる穴川に沿って水田が広がり、昔から米どころとして名が知られています。

開拓地として整備された新生地区では、みかん・きんかん・ぶどう・マンゴーの栽培が盛んに行われており、その代表的な産地として進展しつつあります。

また区内には、世界一のプラグ生産を誇る日本特殊陶業や倉内工業団地が区内に立地しており、区の発展に大きく寄与しています。



◆人口 1,616人、世帯数 699世帯、公民会数 12公民会

文化財



「興詮寺」は、佐志地区公民館の近くにある県の指定文化財のお寺です。明治2年廃仏毀釈のとき仏像などは焼却されましたが、寺は島津義弘の娘（お下）の位牌堂でお寺ではないとの理由で残された貴重なものです。

景勝地



広瀬にある「十文字丘」は、紫尾連山や市街地、湯田、柏原を一望でき、写真撮影には絶好のスポットです。桜の名所としても知られており、公園内にはお稲荷様のほこらもあります。

イベント



7月下旬に佐志地区公民館で開催する「夏祭り」は、夜店や盆提灯が並ぶ中、園児や小学生、青年団、女性部の手踊りが行われ、多くの来場者で賑わいます。町の夏祭りでは昨年と一昨年に2年連続大賞を取った女性部の手踊りは圧巻です。

地域活動



住みよい地域活動の一環として、十文字丘の桜や紅葉の整備、菜の花プロジェクト、農林文化祭などに取り組んでいます。農林文化祭は、農産物の即売やホテル鍋、伝統芸能の披露などを行い、来場者に大変喜ばれています。